

運輸安全・安心通信

今月のテーマ

梅雨時の安全運転対策



間もなくジメジメと雨が降り続く梅雨の季節がやって来ます。梅雨時は交通事故という人災が多発する季節でもあります。視界悪化による「追突事故」や「歩行者を跳ねる事故」、水たまりでブレーキ制御不能になる「スリップ事故」など大事故・死亡事故が毎年頻発しています。きちんと事前の対策をして安全運行をしましょう。

梅雨時に交通事故が多発する5つの要因

！ 雨による視界の悪化

交通事故が多発する時間帯は季節関係なく薄暗い明け方と夕方というのは広く知られています。梅雨時は空も曇天で薄暗い状態が続きますので視認悪化による事故が起きやすい状態にあります。しかも雨が降るとさらに視界は悪くなりますし、ドライバーは運転時にフロントガラスの前面にワイパーを使用しますので視界の悪化に輪をかけてことになります。

！ 雨音による車内と車外の音の遮断

梅雨時の運転で悩まされるのが雨音の問題です。地面や車体に叩きつけられる雨音が外の音を遮断しますので耳から入る情報がおろそかになります。前方や後方から来る車やバイクのエンジン音が聞こえないために「出会い頭の事故」が起きやすくなり、声が雨音でかき消されることにより「衝突事故」が発生しやすくなります。梅雨時の運転時には「**車内の音楽を消す**」、「**少しでも窓を開ける**」など、外の音をキャッチしやすくなるような工夫が求められます。

！ 雨(水たまり)による路面の悪化

「**ハイドロプレーニング現象**」が起きやすくなります。この現象は「タイヤと路面の間に水が入ることで車がアイススケートのようにスッと滑ってハンドルやブレーキが効かなくなる」というものです。大きな水たまりの中をスピードを出して走行している際によく起こります。この現象が起きる原因は「**スピードの出しすぎ**」、「**タイヤの溝の摩耗**」、「**タイヤの空気圧不足**」の3つが主な原因です。また、雨のスリップ事故はカーブを曲がる時にもよく起こります。急カーブが多い道路ではスピードを落として走行することが必要です。

梅雨時の安全運転対策

まず運転の注意点として、「**視界の悪化**」、「**路面の悪化**」、「**聴力の悪化**」という3つを意識して丁寧な運転が必要です。ドライバー自らは「**スピードを出し過ぎない**」、「**車間距離を空ける**」、「**ハンドルをしっかり持つ**」など基本に忠実な運転を心がけるべきです。さらに周りを走る車やバイクも同じく周囲がよく見えていないということも意識なくてはなりません。「**曲がる際にはウinkerは早めに出す**」、「**ブレーキは早めに踏む**」など、ランプの点滅により後続の車にこちらの意図を早めに知らせることが安全運転対策です。また、歩行者の急な飛び出しにも対応できるように、「**狭い道はゆっくり運転する**」、「**ハイビームを点灯する**」、「**クラクションを鳴らす**」など、車の存在を歩行者にも知らせる必要があります。

さらに、「**ワイパー**」、「**フロントガラス(窓ガラス)**」、「**タイヤの溝**」のチェックとメンテナンスも大切です。車の「**視界を良くする**」、「**スリップを防ぐ**」という2つの安全対策をおこなうことで事故の発生を未然に防げますし、雨天の運転ストレスも劇的に改善します。

！ 歩行者の問題

梅雨に交通事故が多いのはドライバーの過失だけが問題ではありません。歩行者は傘をさして歩くため視界が悪化します。また、雨を避けるために視線は下を向きがちになります。そのため自然と前方・後方の注意がおろそかになり事故に巻き込まれやすくなります。

【雨天時の歩行者の行動で気をつけるポイント】

- ・子どもの急な飛び出しがある
- ・雨に濡れたくないために無理な道路の横断がある
- ・横断歩道を渡らない人が増加する
- ・信号を無視する人が増える
- ・傘をさして自転車運転する人が増える

！ ドライバーの心理的問題

梅雨時の運転は平常時と違い「**視界の悪化**」、「**路面の悪化**」、「**雨音**」という3つの問題により集中が必要になります。そのためドライバーには心理的に大きな緊張とストレスが加わります。また、道路は雨の影響で車の量が増えてノロノロ運転になりがちです。渋滞も多くなるためイライラすることが増えます。できるだけ目的地に早く着きたいという焦りが生じて運転が乱暴になり事故の増加を招くことがあります。また、「**雨の日は早く家に帰りたい**」という心理も働きますので、家路を急ぐあまり一般道などでは車のスピードを出す人が増えます。

【ドライバーが気をつけたい雨天時の運転の心理面】

- ・イライラしない
- ・急ぎすぎない、無理な追い越しはしない
- ・歩行者の動きに十分注意する
- ・車両の雨対策をおこない余裕を持って運転する
- ・大雨がきたら運転を停止する、休憩する



発行者

上杉行政書士事務所 代表 上杉 麻美
神奈川県横浜市旭区左近山16-1 1-30-806
TEL&FAX 045-442-3592

行政書士法人シグマ 代表社員 阪本 浩毅
東京都中央区銀座一丁目13番1号
ヒューリック銀座一丁目ビル4階
TEL 03-6868-7256 FAX 03-6800-3604

ご用命・ご相談がございましたらお気軽にお問合せ下さい

一般社団法人 運輸安全総研トラバス
Mail tb@trubus.org ホームページ <http://trubus.org/>

トラバス